

平成23年度 第4回

## 学術経営セミナー報告



(社) 愛知県建築士事務所協会 名古屋支部  
学術経営委員会

今年度、最後の第4回目の学術経営セミナーは  
「設計者のための謄本・公図の基礎知識Ⅱ・設計者の円滑な事業継承と相続・遺留分対策」  
と題して開催しました。

開催場所：事務所協会 大会議室

講演概要：①設計者のための謄本・公図の基礎知識Ⅱ  
②設計者の円滑な事業継承と相続・遺留分対策  
③SBI住宅融資について

各項講師：司法書士法人 行政書士法人 土地家屋調査士法人 ファミリア

①土地家屋調査士・測量士 金林 学洸 様

②相続部門／アドバイザー 岡田 拓郎 様

③モーゲージプランナー 加藤 寿人 様

参加者数：28名／申込者34名

司会進行：奥村 尚史（学術経営委員会 委員長）

### 内 容

日頃から接していながらも、理解しているようで判りづらい『敷地の境界そして分筆』  
『現世代から次世代への相続』参考事例と共に理解できるように説明していただきました。

①『謄本・公図の知識』については、第1回目に引続き、『敷地』には (1)筆界・(2)所有権  
界(3)占有界 の3つがあることや、分筆について基礎的なことの説明がありました。



②『相続問題』については、『現世代』の健全な日々には実感なく、突然の不幸により『次世代』に直面することですが、サザエさん一家（磯野家）を例題にやさしく説明がありました、各項、直面されている方々がいられているようでした、

初めてのセミナー参加者も多数あり多くの質疑も飛び交い、2時間では足りないほどの大変興味深い内容で進行となりました。



③『SBI住宅融資』については説明のみになってしまいました。

※講習配布資料とは別に最後に参加者皆様へ『遺言書セット』も進呈受けました。  
今後も期待される皆様のご意見ご感想を採入れ、セミナー開催を継続させていただきます。

最後に司法書士法人 行政書士法人 土地家屋調査士法人 **ファミリア**の皆様はこの紙面をお借りして御礼申し上げます。